



第73回鹿児島県下一周駅伝大会 郷土路でも力づよい走り



2月21日から25日までの5日間、52区間567.5^{キロ}を競う第73回鹿児島県下一周市対抗駅伝競走大会が開催されました。本町からは、出水チーム選手として、山下真太郎さん（平尾出身・鹿児島実業高校3年・写真左上）、田ノ上尚吾さん（菅牟田・長島町役場・同右） 樋渡速太さん（菅牟田・同・同左下）の3人が出場しました。郷土入りとなった2日目は、雨天に見舞われながらも、選手らは力強い走りを見せました。郷土路では、町内からも多くの観客が駆け付け、選手らを応援する姿がありました。



川床中学校ふるさと交流授業 地域とのつながりを大切に



2月14日、川床中学校（秦一成校長・48人）でふるさと交流・貢献学習が行われました。これは、地域の人との交流をとおして、地域貢献を考える機会の創出を目的としています。生徒らは、校区内の8公民館に分かれてそれぞれの活動を行いました。火ノ浦自治公民館では、生徒4人が参加し、特産品のジャガイモを使用した肉じゃがなどを地域住民7人に教わりました。福原聖徠さん（2年）は「地域の人と話せる良い機会になった。もっと地域とのつながりを大切にしたい」と振り返りました。

町制施行20周年記念事業公演「ドラム・タオ」 最高に楽しく、良い機会



2月22日、長島町町制施行20周年記念事業として、和太鼓を中心とした音楽・舞台パフォーマンス集団のドラム・タオ公演を開催し、昼・夜の2部公演で約千人の来場者がありました。

開演前、川添町長は「本日の公演をみなさんに楽しんでもらい、次の20年の発展に弾みをつけてほしい」とあいさつ。公演後、ドラム・タオの世界観に浸った福元莉奈さん（鹿児島市）は「道中、長島の景色もきれいで良かった。ドラム・タオは最高に楽しく、良い機会になった」と話しました。